



鳥取フェアの様子

放牧サミットに参加して

常務理事 橋本 幸雄

今月の16日から17日に掛けて若手県で開催された第9回放牧サミットに参加しました。

1日目は盛岡市で講演と事例発表があり、その後シンポジウムが行われました。2日目は初日に行われた事例発表のうち2ヶ所の現地視察という日程で行われました。講演では、放牧畜産の優位性について、また普及のために「放牧畜産基準認証制度」についての説明がありました。牛乳・乳製品等酪農関係で4つ、肉用牛で3つの生産基準が示されており、それぞれに対して「認証マーク」の使用許諾を受けることができる内容でした。ここで私が思い出したのが「生産工程JAS」の認証でした。双方とも共通しているのは、あくまでも生産段階(業界)からの発想であり、生産・製造・販売の一貫体制もしくは3者の連携が重要あり、最終商品に「認証マーク」が貼られこれではじめて消費者に伝わり、そして消費が拡大することにより生産拡大にも繋がる。そう言ったための「認証マーク」であるべきだと感じました。

2日目は、若手県の北部と南部の2コースに分かれ現地視察が行われました。私は、南部コースの太平洋地区営農活性化組合(奥州市)と須川営農団地(一関市)に参加しました。盛岡市から現地一関市までは東北縦貫道で若手県をほぼ縦断する行程でした。東は北上山系、西は奥羽山脈に挟まれた平野部は一面、稲刈りを目前に控えていました。その景色で特に目を引いたのは、どこに行っても田んぼの畦がきれいに刈られていました。東北の農家の姿勢というものが感じられました。

視察地の2集団は、どちらも行政が主体となって技術中心の放牧畜産を推進したものでした。須川営農団地は元桑畑に和牛繁殖農家が放牧を行い遊休地の活用を行っていました。もうひとつの視察地である太平洋地区営農活性化組合は、農家個数17戸、区内最高の高齢化率(42%)、担い手不足という典型的な中山間地区でした。経営形態は、水稲、畜産、花卉、特産の4事業に取組んでいました。水田放牧の説明が終わった後に、説明された理事(この方が実務のリーダー)の方に組合全体の経営について、現在の和牛繁殖部門について、また今後について質問をしてみました。答えは、当然厳しいものでした。経営とか利益という前に「このままでは集落がなくなる」との危機感から事業に取組んだと言われました。将来と後継者については、思いはあっても今の段階では具体策の打ちようがないと少し悲観的でした。ここでも後継者問題が最大の課題となっていました。

「地域の活性化」のために立ち上げた組合が、このままでは「集落の崩壊」の先送りという結果に終わるのではないかと少し心配になりました。そうならないためには、行政、関係団体が経営にもう少し踏み込んだところまでのサポートすべきであると強く感じました。

秋の鳥取フェア

営業部 山根 真利奈

9月5日、6日に京都コープ各店で鳥取フェアが開催された。職員をはじめ生産者の方々も一緒に参加しこの鳥取フェアでCOOP鳥取牛のファンが増えることを願うこのフェアでの試食販売に挑んだ。

試食販売では「COOP鳥取牛サーロインステーキ」を試食用に用意し買い物客に振舞った。生産者の方は「鳥取牛の美味しさをこの機会に味わってみてください」と愛情込めて育てた鳥取牛の美味しさをコミュニケーションを交え多くの人にPRした。

この2日間のフェアはたくさんの方々の消費者の方に普段あまり話す機会のない生産者の方と会話をするいい機会になり鳥取牛の美味しさだけでなく様々なことを消費者の方にお伝えすることができたいい機会になった。

今回のフェアだけでなく今後のイベント等で鳥取牛の美味しさを多くの人に知ってもらい、今以上に鳥取牛のよさを多くの方へPRしていきたい。



施設整備について

平成21年度強い農業づくり交付金により自走式汎用型飼料収穫機1台・自走式ラッピングマシン3台を機械整備をいたしました。現在トウモロコシ収穫調整作業を終了し、1ロール当たり490kg、切断長は11mmと品質に期待をしている状況です、コーンの収穫時間は10a当たり25分で稼動となっています。

その後収穫については、飼料用イネの収穫作業を行っている所です。収穫時間は、10a、15分と作業効率がよく、田んぼにおいては特に自給粗飼料を作付けでは、酪農家の強い味方となりえる機械と思います。組合員さんの方で収穫調整を見学したい方については、総務部まで連絡をお願いいたします。

連絡先0857521129 遊佐



若葉台事務所の番地変更について

このたび市役所から住所区画の変更申請を受け、下記のとおり番地を変更しましたのでお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

旧住所 鳥取市若葉台南7丁目 108 - 12
新住所 鳥取市若葉台南7丁目 2番11号

裏面に記載していますが、ホームページアドレスとメールアドレスを再度お知らせいたします。

HPアドレス <http://www.torichiku.or.jp>
新メールアドレス info@torichiku.or.jp

各部署にもメールアドレスを設けておりますので、詳しくは総務事務管理部までお問合せください。

ホームページをリニューアルしました。



8月号で紹介いたしましたでしたが、再度お知らせいたします。7月30日(木)に新しいホームページをリニューアルオープンしました。
ホームページ立ち上げから長い時間が経過しているかと思いますが、やっと公開に踏み切りました。
これを期にたくさんアクセスしてもらって、とりちくのことをもっと多くの人に知っていただけるようなホームページ作りをして行きたいと考えています。
ご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導、ご鞭撻の方よろしくお願いいたします。

総務事務管理部 森田 真美

9月の主な日程

日付	行事
9月 1日	東部座談会 夕礼、ISO全体集会
9月 2日	中部座談会
9月 3日	西部座談会
9月17日 ~27日	ヨーロッパ視察
9月29日	理事会

10月の主な日程

日付	行事
10月 1日	夕礼、ISO全体集会
10月18日	ジゲ畜産まつり
10月26日	理事会



※ 訂正:先月号で10月17日(土)に、ジゲ畜産まつり開催のお知らせをいたしました。が、変更になりました。正しくは10月18日(日)です。ご来場を心よりお待ちしております。

とりちくの各部署職員

紹介コーナー

組合員皆さんには日頃より当組合の事業にたいして日頃より、「ご理解、ご協力を賜りありがとうございます。」
今回は第1加工の職員を紹介します。

後列右から

山田主任
山下職員
稲垣職員
谷本職員

前列右から

岸井係長
朝倉リーダー
三浦マネージャー
棟尾職員



編集後記

早いもので、私が、とりちくに入って1年が経とうとしていきます。去年は入ってから、1週間後が畜産まつりで、訳のわからないまま祭りが終わったという感じでした。去年は大盛況だった畜産まつり、今年も良い天気にも恵まれて、無事良いイベントになればと思っています。職員一同一丸となつてがんばりたいと思っておりますのでよろしく願っています。
また、来年の30周年に向けて、いろいろ準備の段階ですが、組合員の皆様のお力もお借りしたいと考えておりますので、心づもりをお願いいたします。私の考えですが、組合員の皆様、職員のみなさんが、協力して30周年を盛り上げていければと思います。
(もりた)

お問い合わせ先

鳥取県畜産農業協同組合

住所:鳥取市若葉台南7丁目2番11号

Tel:0857-52-1129

Fax:0857-52-1131

e-mail:info@torichiku.or.jp

HP:http://www.torichiku.or.jp